

山野透果次郎

第拾七期營業報告書
(昭和參年上半期)
貸借對照表
資產之部
未拂込資本金 三、五〇〇、〇〇〇・
繰路屋內工作物 五二、六六・

受取手形及未收入金	五九,〇九九・
發電所勘定	一,六二,四七・
變電所勘定	二四,三八・
預ケ金及現金	二六,〇三・
合計	六,四八〇,八九・
負債之部	
資本金	五,〇〇〇,〇〇〇・
諸積立金	二八,七六・

當其利益金	九十五萬三千
內財產減價銷却	一五、〇〇〇・
社債利子引當	八、四三七・
諸積立金	五、五〇〇・
役員賞與金	四、〇〇〇・
株主配當金	三、五〇〇・

後期繰越金 二、四五〇
昭和參年六月參拾日
植田水電氣株式會社

取	取	取	取	取
締	締	締	締	締役社長
役	役	役	役	金成
小林	高岡	白井	安島	
臧	唯一	博	重三郎	

取締役 古川 傳
監査役 根本 祐太郎
監査役 馬上 誠
追而取締役任期滿了ノ處改選ノ結果全員再選就任セリ

當其利益金	九十五萬三千
內財產減價銷却	一五、〇〇〇・
社債利子引當	八、四三七・
諸積立金	五、五〇〇・
役員賞與金	四、〇〇〇・
株主配當金	三、五〇〇・

後期繰越金 二、四五〇
昭和參年六月參拾日
植田水電氣株式會社

取	取	取	取	取
締	締	締	締	締役社長
役	役	役	役	金成
小林	高岡	白井	安島	
臧	唯一	博	重三郎	

取締役 古川 傳
監査役 根本 祐太郎
監査役 馬上 誠
追而取締役任期滿了ノ處改選ノ結果全員再選就任セリ

當其利益金	九十五萬三千
內財產減價銷却	一五、〇〇〇・
社債利子引當	八、四三七・
諸積立金	五、五〇〇・
役員賞與金	四、〇〇〇・
株主配當金	三、五〇〇・

冷凍事業に成功した 磐城水産工業會社

小野社長の手腕に期待

ブリだけで一萬四千五百圓の利益

小名濱の爲めに常に献身的努力を拂つてゐる

小野晋平 氏の經營する磐城水産工業株式會社は創立日

向來いが順調の成績を上げてゐる、殊に本年の状況を見るに極

めて優良にして、大敷網や捕鯨會社の關係から罐詰製造の能力

が上り従つて販賣數量も可成り富んでゐる、殊に同社の冷凍

事業は、一般需用者に頗る便利を與へてゐるので、其眞價が認

められてきた、夏期でなくとも優はれぬ魚が、冬になつても古

をうてる事が出来る、冬でも鯨二萬五千圓の喰へるし、鯛でも

▲ブリ一萬五千圓 ▲鯛五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓 ▲鯖二千五百圓 ▲鯨五萬圓

實現した 曉には小名濱大支店銀行として同店の右にぬのに平支店は二萬六千八百五十の町的發展に連れて水産工業會社出づるものがない、殊に同支店圓を収めた、此調子に進むならも本邦水産界に氣を吐く事が、今期の成績を見るに若松支店のば若松支店より二倍乃至三倍のきるであらう、是等は偏へに商利益金が僅に一萬八千圓に過ぎ、利益を上げる事は難事ではないふので小名濱一般町民は小野社長の手腕力量に期待してゐる。



【氏 平 晋 野 小】

磐越の基礎を確實に

中野頭取の才幹

苦心と力量に對し 特別賞與を贈呈

磐越銀行頭取中野甲藏氏の力量後には縣下は勿論東北の才幹は既に定評あるが、這般の金融界に、一大飛躍を試み、財界動搖に際して一糸あるかを一般人に思はしむるに、取引關係者に此の不自由を感ぜしむるに、今期の成績を見るに利益金一萬九千七百七十九圓、一段と光彩を放つたこと、余圓を算し内配當五分に止め、依つて中野頭取の力量が如何に實價をなす可く三萬五千圓の確信性を帯びてゐるか、而かも準備金を保留した事は最も時宜に當つてゐる、如何に安泰の基を得た事として、株主間から賞讃に當つてゐる、殊に中野頭取は、いふ事を如實に物語つてゐる、時節柄重役賞與金を遠慮すべく、同行は創立つかに拾週年を経、株主總會に計つたが、株主間の意見としては、平重役は兎に角、すして今日の成果を収めてゐる、意としては、財界動搖に際してよくこ

河西氏の手腕と信用 福島縣農工銀行平支店長河西八十治氏が、同支店に轉勤して以來、同氏の手腕と信用とは逐年増

料蒐集の爲め出掛けた折、署内に於て、時事新報の村瀬君が、不思議にも力進社對平銀行の問題を知つて、本社に通信すべく口づつたのであつた、時報の酒井君は歸社するや否や社長の佐藤作平氏に、風雲極めて急なる事を告げたのだった、當時筆者は時事新報を退めて、磐城時報の編輯長として、編輯を主宰してゐたから、當時のシソーは、今尚ほ昨日の如く、頭の中にクツキリと浮んでゐる。

力進社問題で

新聞記者の諒解運動で

難色を見せた平銀行

雙眼を有する人達は平銀行が力進社に貸付けた四十余萬圓の金額は到底回収し得ざるものとして、何れも、青息吐息の狀態であつた。

其平銀行が、枯草の上に秋風哀しくも吹き荒ぶ窮狀にある事は當時一般平銀の取引者は、ほとんど知る由もなかつた、然るに當時磐城時報に勤務してゐた酒井與市君が平署に材

事の際かならざる報告を得た佐藤社長は、一般預金者の耳に入らざる中に、是を封鎖する外に途なしとして、野崎満藏氏と協力して新聞記者の買

佐藤作平氏と、野崎満藏氏とは必死の努力を拂つて頑強に諒解し難い前述の諸君を各所の料亭に招致して説得したが、容易に肯んずる様子もなかつた、佐藤氏は遂に當時最も頑強であつた時事の村瀬君をして田町初音に招いて種々懇談したが容易に話が纏らなかつた運動の一線に立つた元いは

難局を切 好間小學校生徒たちで聴衆を喜ばせたが、この音樂會に於て最も特筆大書せねばならぬことは、小野晋平氏がステージに立つて「追分」相馬流山二遍返し「音聲朗々と唄ひ、聴衆をヤンヤと云うならしたことであつた(最後に本會に終始後援を惜しまなかつた各位に深く感謝いたします。

涼納演名小 會奏演樂音 東北實業新聞、磐城立憲新聞、磐城新報、磐城新報三社主催の小名濱浴客慰安音樂會は十四日午後七時より小名濱小學校講堂に開催した、聴衆八百、近來になき大盛會であつた、出演者は唐土磐城中學校長夫人、松本佐喜世女史、新妻佐喜世女史及門下數名、尺八の名手小山田吉次、高橋元一郎兩氏、洋樂では白石恭氏、琴曲の平陽女學校長の令

財界安定 促進會集會 近々聲明書を發表 財界安定促進會は去る十八日午後六時より松ヶ岡公園春木亭に會合、柏原眞吾氏に對する聲明書を發表する事を決議し、尙ほ吉田次郎氏に對しては、曩に平銀行には借金が無いと斷定した聲明書を發表して置き、乍ら現在考課狀に示す如く又最近の新聞紙に報ずる處によると目下借入金に爲に狂奔してゐる事實がある、是れに關する聲明書も同時に發表する事になるであらうと

暑中御伺 諸橋元三郎 諸橋守次 諸橋元三郎 暑中御伺

入山炭礦の飛躍
六坑に有望な炭層

暑中御伺

釜屋商店

諸橋元三郎

暑中御伺

社員會議 資本金百萬圓と合併して二百萬圓 役員賞與 金四千圓、株主配當金六萬二千五百圓、後期配當金二千四百十五圓に及んで

暑中御伺

釜屋商店

諸橋元三郎 諸橋守次

入山炭礦の飛躍 六坑に有望な炭層

光明に満ちた同礦の意氣込

常に健實な經營に依つて操業を男、加澤保太郎、中野甲藏、小續けてゐる入山株式會社は現在田吉次、安孫子才三郎、野崎滿の重要坑たる湯本町第五坑の外、皆川新一、佐藤作平、諸橋更に第六坑を開鑿する事となり守次諸氏が發起となり目下株募大貫技師部長監督の下に愈々來集中である平魚市場は總資本金月一日を以て起工する筈で今後拾貳萬圓で建設する事になつた一年三ヶ月にして着炭する第六坑が、將來極めて有望であるとい坑は實に二百二十萬坪を算するふので株の申込意外に多く、二といふ現在の第六坑鑛區七十五十日には豫定通り締切り愈々大萬坪の約三倍の廣汎なる區域で工町に開設する事になるが、縣埋藏炭層品の豊富なる事思ひ半内外委託品口錢其他を合して確に當るものがある、入山も近く實に參萬六千五百圓の利益を舉コールコッターを使用し電車にける可能性があると云ふ。

小田礦埋藏炭 三百萬噸

必死の努力で
開拓に余念がない

小田炭礦株式會社は炭界の不振外來患者が玄關に詰めて大はたしたもので、吉田事務部長を始めてとして庶務の主務者比佐源造氏の如きも

事業不振時に 植電の好成績

金成社長の力量手腕は
縣下經濟界に雄飛するに至つた

と語つてゐるが、社員、従業員が斯の如き意氣込である以上、入山探炭會社がこの難局を切り抜けて炭界に氣を吐く時期も遅くはないと見られてゐる。

平魚場 有望視されて満株

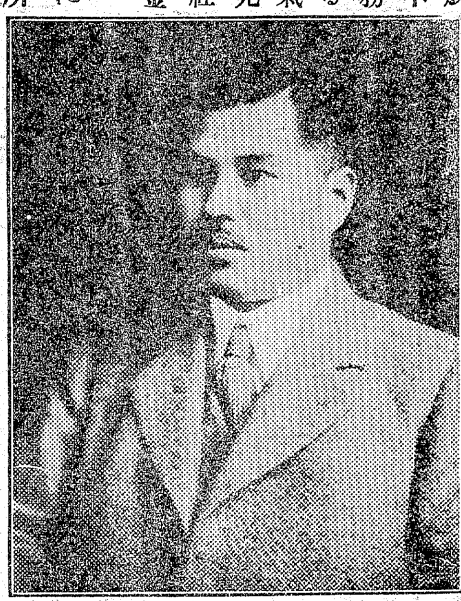
加納五郎、伊藤彌兵衛、端山正の仕事であつた、現在でも、ほの

郡南刀圭界に 好評噴々たる 片岡醫院

片岡院長の力量と徳望
植田町片岡醫院院長片岡章氏は同町に醫院を開業してより日尚ほ淺いが、郡南刀圭界に其手腕を認められ頗る信頼を受けてゐるが、片岡院長の人格と温厚にして患者に對する親切味の濃かな点より、近來入院患者も夥しく

十萬圓に 電力發電所

を起し、當時の區域は隣村五ヶ村に跨り二千余燈に過ぎなかつた、而して大正八年六月新に植田水力電氣を創立して四時川に



【氏通成金】

經濟ラヂオ

昔神門辰五郎といふ親分があつた、今時平町にも辰五郎親分になん平銀行の支店監督主任を相勤めする神谷辰五郎親分であらうとは、此辰五郎親分、元勞農黨の殘黨が異喰ふために辰親分の貸家を開放し無産黨が警銀預金者大會を開催するに當つては、ようでかしたと言つて、蔭に力添ひをして手を叩いたといふ話、辰

暑中御伺

馬上守一

小名濱町長

鈴木榮

江名町長

河野嘉藏

豐間大敷網事務所

遠藤治太郎

酒井與左衛門

阿部彦次郎

平藝妓屋組合

四倉藝妓屋組合

良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵
金物問屋



釜屋商店

磐城平 電話一九三九番

確實敏捷は久の生命なり!!!

平町字田町 (電話五一三番)

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑士 佐竹菊雄

第二病室増設—入院隨時

平町搔搔小路

山野邊義政法律事務所

電話六二五番

漆器の御用なら

和久井屋漆器店

平町一丁目 (電話四〇五番)

内科 小兒科
花柳病科

(入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平四七〇七番

最新滋強
回春劑

ビータス

定價 三圓 五圓
拾圓 廿圓

適應症 (腦神經衰弱、ヒステリイ、生殖不能、
陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等)

平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局

七月拾壹日より日本銀行代理店ヲ
引受候ニ付國庫ニ關スル事務ハ一
般銀行事務ト共ニ便宜取扱申候
昭和三年八月

株式會社平銀行

暑中御伺

(同不序順)

金成通

古川傳一

金成金三

助川新三

大平千秋

山崎登

片岡章

森合芳男

大平喜治

小田炭礦株式會社

暑中御伺

磐城小名濱町

清世界吉清水屋

銘酒各炭礦御用達

小野晋平
電話六番

小名濱町 (電話五十二番)

會社資 小名濱大敷漁場

郡司二郎

平料理屋組合

湯本信用無盡株式會社

吉田正雄

東洋捕鯨株式會社小名濱事業場

大野英之助

湯本温泉旅館組合

福島縣平造町

山崎合名會社

營業部 十番
工場 二番

磐城病院改稱

市原病院

電話二一四番

内科・小兒科 市原卯太郎
外科一般・婦人科 市原陸郎
花柳病科 市原三男

平町南町
常磐ラヂオ會
電話四五五番

高久病院

院長 高久忠

暑中御伺

平町五丁目

山野邊藥局

醫學博士 齊新果

發行日五日廿日(回)
印刷人 鈴木昌雄
發行人 鈴木昌雄
福島縣磐城郡平町
材木町廿二番地
發行所 磐城經濟新聞社

今新に差控へよう、磐銀が當
初より平銀との合併案を拾て
運、單獨開業の方針に邁進し
たならば、或は既に業に開業の
運びに至つたかも知れぬ。

元勞農黨の殘黨が、二回に亘
り磐銀預金者大會なるものを
開催したが、預金者は躍らな
かつた、冷静であつた。慎重
であつた。つらなれば、七、

第七期營業報告書
(昭和參年上半期)
貸借對照表